



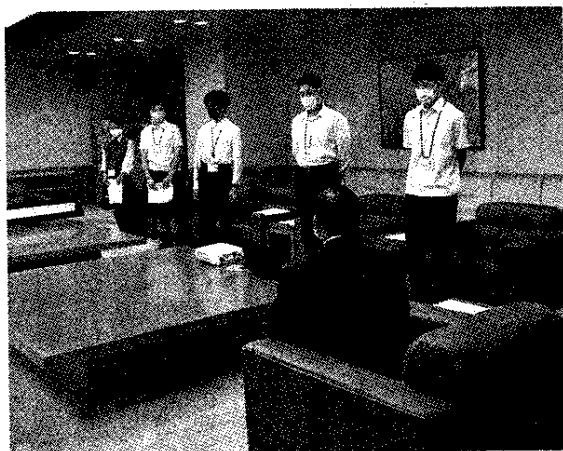
岳南朝日新聞社
〒418-0033
富士宮市野中東町46-1

富士宮高校会議所

高校生ボランティア アワードで表彰受け

須藤市長に受賞報告

「ベビーカーの2R」活動



受賞を報告するメンバー

富士宮高校会議所が「ベビーカーのボランティアアワード」で表彰された。また、「風」認定証なども贈られ、今年4月から取り組ん

8月31日に同会議所メンバーが市役所を訪れ、須藤秀忠市長に受賞を報告した。

高校生ボランティアアワードは、「風に立つライオン基金」が行う顕彰事業として2016年から開催。環境保全や社会福祉活動など、地道な奉仕活動を行う高校生たちの発表交流の場として人材育成を目的に行っている。今年6月から7月にかけて全国7地区で地区大会（オンライン）を実施。全国大会は東京都内で8月に開催され、3年ぶりに候補者が集まり、会場内の設置ブースで活動発表を行った。

富士宮高校会議所は母力向上委員会の協力を得ながら、使用しなくなったベビーカーを引き取り、必要とする人の手に渡す「ベビーカーの2R、リユース・リサイクル」で持続可能な社会を目指す活動を、昨年3月の聞き取り調査などを経て4月から本格的にスタート。今後は、使用しないベビーカーを集めることや、公共施設などへの配置協力の呼びかけなどを行っていくという。

報告では勝亦海吏さん（富士宮高校2年）らが活動について紹介したほか、全国大会の様子などについて「他の高校が発表する、自分たちとは違った視点に触れることができたと感想を語った。須藤市長は「全国での受賞は市にとっても誇り。高校生ならではの柔軟なアイデア、発想で富士宮に元気、活力を与えてほしい」と称賛した。